

令和5年度卒業式が行われました。

3月1日(金)に卒業式が行われ、全校生徒・保護者・職員・来賓あわせて約800名が臨席しました。国歌、県民歌、校歌斉唱から始まり、生徒達の声が体育館に響き渡りました。校長先生は式辞で「学び」について触れられ、『どんな時も「学び」を続けてもらいたい。「学び」は、どんな時代をも生き抜く力を私たちに与えてくれるので、本校で身につけた「学び続ける習慣」を忘れずに、これから先も大切にしていほしい。』と話されました。それから、続けて『本校創始者のお一人である濱口梧陵先生は、耐久社創立時に、当時の生徒に示された「学則」の冒頭で「学問ノ要ハ安民ニアリ、安民ノ本ハ修身ニアリ」と語りかけています。個が尊重される世の中にあっても、梧陵先生が、目指した「人のために」「社会のために」の学問(学び)を忘れずに、自らの道を進んでもらいたい。』と卒業生に語りかけました。式典に臨む卒業生と在校生の姿勢も素晴らしく、厳粛な雰囲気のうちにも感動ある卒業式となりました。

